

「1億円国鉄スト基金」カンパ要綱など決定

高島喜久男氏を代表幹事に
各界人士よりなる呼びかけ人会議



十一月七日、東京・湯島会館において、「国鉄『分割・民営化』阻止、十二万四千名首切り粉碎、動労千葉支援ノ一億円国鉄ストライキ基金」の呼びかけ人会が開催され、基金運動の代表幹事に高島喜久男氏を選出するとともに、運動の進め方、カンパ要綱・規約を決定するなど国鉄ストライキ貫徹に向けた本格的な支援運動が開始されることとなった。

決戦は始まった。あらゆる反動をはねのけて必ず勝利する——
——中野委員長が決意と訴え——

この日の会合には、動労千葉から中野委員長と西森総務財政部長が出席し、呼びかけ人より労働運動研究家の高島喜久男氏、立正大学教授の浅田光輝氏、反対同盟の北原事務局長、埼玉大学教授の鎌倉孝夫氏、全金本山労組の八重樫委員長、仙台中電の板本弘嘉氏、全通の神子高人氏、杉並革新連盟代表の長谷川英憲氏、淡路国際空港反対同盟事務局長の安藤氏、船橋市議の中江昌夫氏が出席された。
動労千葉を代表してたつた中野委員長は「当局は、動労千葉への選別的不当処分をかけるなど、ストライキへの戦線布告を行ってきた。決戦は始まった。いかなる反動もはねのけ必ず勝利するので各方面からの支援・連帯を要請したい」と報告と決意を明らかにした。

高島氏を代表幹事に「基金・カンパ要綱」を決定
——確信固く、いざ11月ストへ——

討議の結果、大要次のことが決定された。

- (1) 代表幹事を高島喜久男氏とする。
- (2) カンパについて①一時カンパは一口一万円とする。②毎月定期カンパは一口二千元とする。
- (3) 基金の目的は、国鉄「分割・民営化」阻止、十二万四千名首切り粉碎をめざす動労千葉の教波のストライキ闘争を支え、国鉄ゼネストへの発展を願ひ、かつその闘争の犠牲者を救済するものである。
なお、従来のジェット闘争支援基金カンパはそのまま継続する。

この日をもつてストライキ支援の全国的な大きな体制が確立し、本格的な運動が開始された。

呼びかけ人

- 浅田光輝（立正大学教授）
- 市川 誠（総評顧問）
- 太田 薫（総評顧問）
- 鎌倉孝夫（埼玉大学教授）
- 神子高人（全通労働者・「全通労働運動史」著者）
- 北原 鈺治（三里塚芝山連合空港反対同盟事務局長）
- 坂本弘嘉（仙台中電）
- 佐藤芳夫（全造船石川島分会委員長）
- 清水慎三（労働運動評論家）
- 瀬川 博（部落解放同盟荒本支部長）
- 高島喜久男（労働運動評論家）
- 辻岡 豊（東大阪市立意岐部東小元教頭）
- 永井 満（淡路国際空港、淡路町反対期成同盟代表）
- 中江昌夫（元動労副委員長・船橋市議）
- 西村卓司（三菱重工長崎造船労組副委員長）
- 長谷川英憲（杉並革新連盟代表）
- 増山太助（元読売労組書記長）
- 八重樫友美（全金本山労働組合委員長）

すでに『日刊』で報告したように、動労千葉のストライキ方針は、中曽根に怒りをもつ全国の国鉄労働者をはじめとする労働者・人民の大きな共感を呼びおこしている。

矢は放たれ、一点の火花が野を焼きつくすごとく拡大しつつある。

中曽根・当局への怒りをたぎらせ、勝利への確信も固く、いざ十一月末ストライキへノ！